

# 議

## 案審議

■第5回定例会（9月）に市長から提出された議案は、決算認定7件、補正予算案8件、その他の議案4件、合わせて19件すべてを認定・可決・同意しました。

■委員会提出議案は、意見書1件を可決しました。

■審議した陳情4件は不採択となりました。

■第6回臨時会（10月）では、市長から提出された補正予算案1件を可決しました。

主な議案の概要は次のとおりです。



### 市長提出議案

■小中学校に導入する「学習・指導用端末」等の購入契約を締結

【羽村市立小中学校における「学習・指導用端末」及び「家庭学習用端末」の購入契約について】

### 【主な内容】

- ・ GIGAスクール構想に基づく「学習用端末の標準仕様」に準じた端末を、合計4579台購入するために、契約を締結するものです。
  - ・ 契約の方法：一般競争入札
  - ・ 契約金額：1億7215万円
  - ・ 契約の相手方：東日本電信電話株式会社東京事業部取締役東京事業部長 中江康二氏
  - ・ 契約の期間：契約確定日の翌日から令和3年3月1日まで
- 【議決結果】 原案可決

### 質疑

**Q** 端末の導入に向けて、学校の先生方の意向や考え方を聞いたか。

**A** 端末のOSの指定やネットワ

ーク、今後の活用について全校から意見を聞いている。今後は、使用方法などについて先生方に体験してもらおう機会を設ける。

**Q** 一般競争入札にした理由は。

**A** 今回は、数量が非常に多く、GIGAスクール構想が全国規模で行われることから、同時期に同様の調達がかかり、取り扱える業者が限られてくる。広く一般に求めて可能な事業者から調達することが、最善かつ透明性も確保できるため制限付一般競争入札とした。

**Q** ドリル学習機能を有する無償のソフトウェアを導入するとのことだが、小学校1年生から中学校3年生まで同じソフトが対応できるのか。

**A** 基本的に全学年に対応できるようにドリルソフトを導入する。

**Q** 納期はいつごろか。

**A** 3月1日を納期としている。



▲小中学校に導入予定の学習用端末

## ■教育委員会委員の任命に同意

### 教育委員会委員の任命について

#### 【主な内容】

教育委員会委員の任期満了に伴い、委員の任命に議会の同意を求めるものです。

#### 【教育委員会委員】

・江本裕子氏 ・塩田真紀子氏

【任期】 令和2年10月1日～令和6年9月30日

【議決結果】 原案同意

## ■新型コロナウイルス感染症対応に要する経費を計上

### 令和2年度羽村市一般会計 補正予算(第5号)

#### 【主な内容】

歳入歳出それぞれ、7億1478万円を増額し、補正後の予算額を、歳入歳出それぞれ、293億110万円とするものです。

#### ●歳入

地方特例交付金：当初予算額との差額を増減措置

国庫支出金・都支出金：新型コロナウイルス感染症対策としての補助金などを計上

繰入金：財政調整基金繰入金を減額

市債：臨時財政対策債を増額

#### ●歳出

総務費：財政調整基金積立金を計上

民生費：新生児臨時特別定額給付金などを計上

衛生費：新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用消耗品などの購入費及び児童福祉施設等への補助金を計上

土木費：羽村駅西口都市開発整備基金積立金を計上、公園施設維持補修工事費を増額

教育費：中止となった小中学校の修学旅行及び移動教室の企画料の保護者負担への補助金を計上、学校臨時休業中の家庭の食費負担軽減のための必要保護児童扶助費などを計上

【議決結果】 原案可決

## —— 討論 ——

#### 反対

区画整理事業会計からの繰入金を羽村駅西口都市開発整備基金へ積み立てることに反対。財政調整基金に積み立てるべきである。

(世論)

賛成 歳入・歳出ともに緊急性・必要性の高いものであり、補正予算は適切なものである。

(新国会)

#### 賛成

羽村駅西口都市開発整備基金への繰入金の積み立てなど、問題はあるものの、新型コロナウイルス感染症の拡大を抑えながら市民の暮らしを支える内容であり、賛成。

(日本共産党)

## ■高齢者のインフルエンザ予防接種を無償化

### 令和2年度羽村市一般会計 補正予算(第6号)

#### 【主な内容】

歳入歳出それぞれ、4670万円を増額し、補正後の予算額を、歳入歳出それぞれ、293億4780万円とするものです。

【議決結果】 原案可決

## —— 質疑 ——

Q 無償となるインフルエンザ予防接種の対象者は。

A 65歳以上の方と、60歳以上65歳未満で基礎疾患のある方が対象。

## 委員会提出議案

### 意見書を可決しました

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症は、地域経済に大きな影響を及ぼしており、今後の地方財政は、これまででない厳しいものになることが予想される。

地域の実情に応じた行政サービスを安定的に提供するため、地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保を強く国に求める。

#### 【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣

【議決結果】 原案可決

※内容は要約しています。詳細はインターネット録画中継(9月8日・30日分)でご覧いただけます。

■市長提出議案の議決結果

<第5回定例会(9月)で全会一致となった議案>

| 件名・概要   | 議決結果 |
|---|------|
| 令和2年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算(第2号)<br>歳入歳出それぞれ1億6,075万1千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ60億8,511万1千円とする。   | 原案可決 |
| 令和2年度羽村市後期高齢者医療会計補正予算(第1号)<br>歳入歳出それぞれ3,644万円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ13億2,024万円とする。  |      |
| 令和2年度羽村市介護保険事業会計補正予算(第2号)<br>歳入歳出それぞれ1億3,251万5千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ39億5,799万5千円とする。   |      |
| 令和2年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計補正予算(第1号)<br>歳入歳出それぞれ9,408万9千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ19億4,458万9千円とする。  |      |
| 令和2年度羽村市水道事業会計補正予算(第1号)<br>【主要な建設改良事業】<br>(施設整備事業)1,560万円を増額し、補正後の予算額を9,470万8千円とする。<br>【資本的収入及び支出】<br>(支出)1,560万円を増額し、補正後の予算額を7億858万3千円とする。 |      |
| 令和2年度羽村市下水道事業会計補正予算(第1号)<br>【資本的収入及び支出】<br>(支出)500万円を増額し、補正後の予算額を6億5,926万8千円とする。  |      |
| 令和元年度羽村市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について<br>令和元年度羽村市水道事業会計未処分利益剰余金4億2,695万1,939円のうち1億5,897万5,227円を減債積立金に積み立て、2億6,797万6,712円を資本金に組み入れる。                 |      |
| 羽村市立小中学校における「学習・指導用端末」及び「家庭学習用端末」の購入契約について<br>P 10 参照   |      |
| 教育委員会委員の任命について(2件)<br>P 11 参照   | 原案同意 |
| 令和2年度羽村市一般会計補正予算(第6号)<br>P 11 参照  | 原案可決 |

<第5回定例会(9月)で賛否の分かれた議案>

| 件名・概要                            | 会派名(数字は人数) |     |     |     |     |     |     |     | 本会議での議決結果 |
|----------------------------------|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|
|                                  | 令          | 公   | 新   | 共   | ネ   | 世   | 力   | 風   |           |
|                                  | (4)        | (4) | (4) | (2) | (1) | (1) | (1) | (1) |           |
| 令和2年度羽村市一般会計補正予算(第5号)<br>P 11 参照 | ○          | ○   | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | 原案可決      |

凡例

- 各会派の賛否 ■ 議案 / ○…賛成 ×…反対
- 会 派 名 ■ 陳情 / ○…採択 ×…不採択
- 令…令和かがやき 公…公明党 新…新政会 共…日本共産党
- ネ…市民ネットワーク 世…世論 力…つながる力 風…新しい風

<令和元年度決算認定の議決結果>

| 件名                            | 会派名（数字は人数） |     |     |     |     |     |     |     | 本会議での議決結果 |
|-------------------------------|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|
|                               | 令          | 公   | 新   | 共   | ネ   | 世   | 力   | 風   |           |
|                               | (4)        | (4) | (4) | (2) | (1) | (1) | (1) | (1) |           |
| 一般会計歳入歳出決算                    | ○          | ○   | ○   | ×   | ×   | ×   | ○   | ○   | 認定        |
| 特別会計                          |            |     |     |     |     |     |     |     |           |
| 国民健康保険事業会計歳入歳出決算              | ○          | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |           |
| 後期高齢者医療会計歳入歳出決算               | ○          | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |           |
| 介護保険事業会計歳入歳出決算                | ○          | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |           |
| 福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計歳入歳出決算 | ○          | ○   | ○   | ×   | ×   | ×   | ○   | ○   |           |
| 下水道事業会計歳入歳出決算                 | ○          | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |           |
| 水道事業会計決算                      | ○          | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |           |

■陳情の審議結果

| 件名                    | 審査した委員会 | 会派名（数字は人数） |     |     |     |     |     |     |     | 本会議での議決結果 |
|-----------------------|---------|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|
|                       |         | 令          | 公   | 新   | 共   | ネ   | 世   | 力   | 風   |           |
|                       |         | (4)        | (4) | (4) | (2) | (1) | (1) | (1) | (1) |           |
| 陳情「羽村市議会での侮辱の虚偽答弁を甘受」 | 議会運営委員会 | ×          | ×   | ×   | ×   | ×   | ×   | ×   | ×   | 不採択       |
| 陳情「羽村市議会での職員の虚偽答弁は侮辱」 |         | ×          | ×   | ×   | ×   | ×   | ×   | ×   | ×   |           |
| 陳情「羽村市議会は虚偽答弁を拒否しない」  |         | ×          | ×   | ×   | ×   | ×   | ×   | ×   | ×   |           |
| 陳情「陳情の審査に『なじまない』は不適切」 |         | ×          | ×   | ×   | ×   | ×   | ×   | ×   | ×   |           |

■委員会提出議案の議決結果

| 件名   | 提出した委員会 | 本会議での議決結果 |
|--|---------|-----------|
| 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書 | 総務委員会   | 原案可決      |

<第6回臨時会(10月)で全会一致となった議案>

| 件名・概要  | 議決結果 |
|--|------|
| 令和2年度羽村市一般会計補正予算（第7号）<br>歳入歳出それぞれ6,000万円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ294億780万円とする。<br>新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ市内経済の活性化を図るために、市内共通商品券を発行する経費や市内中小企業者に対する支援のための経費を計上する。 | 原案可決 |

会派名簿

令和かがやき

おつか 大塚あかね  
はせひら 馳平 耕三  
はまなか 濱中 俊男  
みずの 水野 義裕

公明党

なかじま 中嶋 勝  
とみなが 富永 訓正  
にしかわ 西川美佐保  
いし い 石居 尚郎

新政会

あきやま 秋山 義徳  
いん なみ 印南 修太  
とみまつ 富松 崇  
はしもと 橋本 弘山

日本共産党

はまなか 浜中 順  
すずき 鈴木 拓也

市民ネットワーク

もんま 門間 淑子

世論

やまぎき 山崎 陽一

つながる力

たかだ 高田 和登

新しい風

かじ 梶 まさあき 正明

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

# 一般質問

一般質問とは、市が実施している施策全般についての議員の質問です。

第5回定例会では、

9月1日、2日、3日の3日間にわたり

17人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。



《Q》必要な方へ戸別受信機や文字放送装置設置を  
《A》他に受信アプリ含め支援策が令和3年度整う

富永 訓正 議員（公明党）



**緊急を要する命を守る  
防災情報の住民への情報伝達を**

公明党議員が行った昨年  
の台風第19号に関するアン  
ケートで、回答者の6割以  
上の方が避難情報発令の認  
識がなかったと回答した。

**質問** 必要とされる方への戸別受信機や文字放送装置等の設置に向けた取組状況は。

**市長** 戸別受信機や羽村駅・小作駅自由通路への文字表示装置の設置、防災行政無線放送の受信アプリの支援策が令和3年度整う。

**ウィズコロナの時代に**

**どう向き合っていくか**

コロナ禍の中、地域コミュニティや市民活動等を通じた心の通う人々の交流や

励まし合いは無くしてはならない。

**質問** 市民・地域が実施する各種行事等の今後の在り方、方向性を市はどのような考えで支援していくか。

**市長** 感染防止を図りながら市民活動や地域コミュニティの充実を図っていただき、市でも支援していく。

**質問** コロナ禍での教訓を踏まえ行政のデジタル化が課題となっているが。

**市長** 自宅から申請や相談、情報収集ができる環境の整備は必要。検討を進める。

**コロナ禍において市内事業者をどう守っていくか**

**質問** 各支援施策ではカバーされない事業者の実態に即した施策を考えては。

**市長** 一定のルールを設け事業者の皆様の経営実態に即した支援に積極的に取り組む。



防災行政無線



《Q》自販機設置時、環境配慮事業者にインセンティブを  
《A》プラスチック削減が図られるよう、容器を指定する

西川 美佐保 議員（公明党）



プラスチックごみ削減  
など環境負荷の低減を

**質問** 公共施設への自動販売機設置の際に、環境に配慮した容器を使用する事業者に、入札でポイントを付けインセンティブを与えては。  
**市長** 販売する商品の容器を環境配慮型容器に指定することで、プラスチックごみの削減が図られるよう努める。

マイ・タイムラインの  
推進と水害・土砂災害対策を

公明党が西多摩地域の住民に実施した防災アンケートでは、マイ・タイムラインについて「知らなかった」と答えた人の羽村市での比率は、83・3%だった。  
**質問** マイ・タイムライン



全戸配布された東京マイ・タイムライン

の作成推進をどう図っていくのか。特に浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の居住者への支援は。  
**市長** 今年度の総合防災訓練では、「東京マイ・タイムライン」を全戸配布した。各家庭で自宅の地域を確認し、マイ・タイムラインを作成することで、安全な避難行動に繋げていく計画である。浸水想定区域や土砂災害警戒区域等に居住する市民には、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を行い、作成講習会を順次実施していく。  
**質問** 市としてハザードマップの認知度を上げ、活用をどう促していくのか。  
**市長** 市民にマイ・タイムラインを作成して頂く際、ハザードマップを活用し、自らの安全を守るために有効に活用されると捉えている。

■その他の質問  
「マイナンバークードの推進について」



《Q》文化財説明板の場所がわかるように改訂すべき  
《A》「はむら文化財みて歩き」に案内図を添付する

高田 和登 議員（つながる力）



文化財説明板の  
充実について

**質問** 「はむら文化財みて歩き（平成14年発行）」を文化財説明板の場所が特定できるように改訂したかどうか。  
**教育長** 「羽村市文化財案内図」と「文化財説明板一覧表」を今後、添付する形で対応する。

**質問** 文化財を自由に訪問し、達成証と記念品を授与する企画を検討したかどうか。  
**教育長** 達成証と記念品の授与なども含め、「はむら文化財みて歩き」を活用した事業について検討する。  
**質問** 学校教育の授業として、市内の「文化財めぐり」を計画したかどうか。



文化財説明板の一例「懐古の井戸」

り」を計画したかどうか。  
**教育長** 今後計画している。初任者教員の研修において、「はむら文化財みて歩き」の活用なども検討する。  
**災害時の避難と  
備蓄について**

**質問** 自主避難所を地域防災計画に明記すべきと考えるが。  
**市長** 地域防災計画への記載は考えていない。  
**質問** 自動車による避難のため、各学校の校庭を駐車スペースに開放したかどうか。  
**市長** 自動車での避難を地域防災計画へ反映する。  
**質問** 避難所運営マニュアルは市主導で作成すべきと考えるが。  
**市長** 各避難所運営委員会が感染症対策も含め、改訂を行っている。

**質問** 今回の羽村市総合防災訓練の反省点や課題を冊子にまとめたかどうか。  
**市長** 訓練結果は記録に残し、今後の避難所運営に活かす。



《Q》ひとり親世帯や多子世帯へさらなる支援を

《A》有効な施策は積極的に取り入れていく

石居 尚郎 議員（公明党）



子育て相談課の窓口（市役所内）

**コロナ禍から母と子を守れ**

**質問** ひとり親世帯や多子世帯へ、さらなる支援策を実施する考えはあるか。

**市長** 他の自治体の取組み等についても情報収集し、有効な施策は積極的に取り入れていく。

**質問** 特別定額給付金の対象となっていない、4月28日以降に生まれた赤ちゃんに対する市独自の支援が必要では。

**市長** 国の特別定額給付金の給付対象外とされた4月28日以降に生まれた新生児を育てるご家庭に対し、年度内の不均衡を解消するため、対象児童1人につき10万円を新生児臨時特別定

額給付金として給付する。

**介護・障がい者施設等への**

**PCR検査とBCP作成支援を**

**質問** 介護関連施設や障がい者施設の職員及び利用者

に対して、クラスターが発生する可能性がある場合など、PCR検査の費用を東京都が全額支援する事が決定した。この事業における市の役割は。

**市長** 東京都や西多摩保健所と連携し対応していく。

**質問** 介護施設等を訪問する中で、実践的な感染症に対応したBCP（業務継続計画）作成の研修会の実施を保健所や広域行政圏に提案してきた。実施となった場合、羽村市の支援策は。

**市長** 詳細が示された時点で精査し、市としてできる支援を検討していく。

■その他の質問  
「マンション管理の対策強化と在宅避難について」



《Q》ペットとの同行避難、車の乗り入れについては

《A》ペット収容場所および校庭に駐車区域を定めた

中嶋 勝 議員（公明党）



密集を回避してパーテーションを設置（9月12日の総合防災訓練）

**3密回避を含めた**

**避難所対策について**

**質問** 密集を回避すると収容人数はどうなるか。

**市長** 通常、世帯2人に必要な避難スペースは、3・3㎡だが、14・5㎡必要になり、大幅に減少する。

**質問** 町内会館等の利用も含めた分散避難の考えは。

**市長** 公共施設の活用や友人知人宅、ホテル等への避難も呼びかける。

**質問** エアコン設置が決まっていない小学校7校の体育館にも順次設置しては。

**市長** 避難所環境の整備について検討していく。

**質問** 昨年の台風の際に問題となったペットとの同行

避難、また車の駐車や乗り入れはどう改善されたか。

**市長** ペット対策の充実に取り組み、屋内収容場所を各避難所運営マニュアルに

定めた。また、校庭に駐車区域を定め、車での避難を可能とし、今年度の防災訓練を通じて地域防災計画に反映させていく。

**質問** 福祉避難所として障がい者を受け入れる福祉センターの即時開設を望むが。

**市長** 個々の具体的な避難方法の中で検討していく。

**グリーントリム公園の整備について**

**質問** 石垣の整備やその側道の拡幅はできないか。

**市長** 石垣を撤去し、幅1・2mの園路を設置する。

**質問** 樹木の剪定や伐採、間引きは。

**市長** 約20本伐採する。明るく風通しが良くなるよう樹木管理に努める。

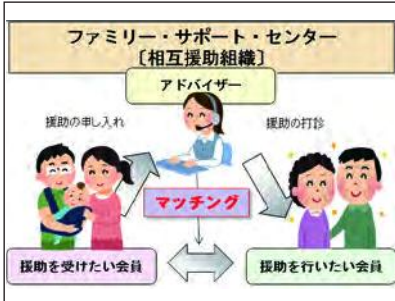


■その他の質問  
「困窮している市民への支援について」

《Q》ファミサポの安全対策を強化すべきでは

《A》緊急時ガイドラインを早急に策定する

大塚 あかね 議員（令和かがやき）



ファミリー・サポート・センター事業の仕組み（厚生労働省 HP より）

質問 病児・病後児保育や緊急時の預かりを実施して取り組んでいく。

質問 緊急時ガイドラインの策定はされているのか。  
市長 ガイドラインの策定は必要であることから、早急

に求められている。  
質問 緊急時ガイドラインの策定はされているのか。  
市長 ガイドラインの策定は必要であることから、早急に求められている。

ファミリー・サポート・センターの充実をすすめよう  
ファミリー・サポート・センター事業（以下ファミサポ）は子育て支援としての役割は勿論、新型コロナウイルス感染症対策のため、学校が一斉休業された中、その代替措置として、事業の必要性が一層高まったものと考えられる。その一方で安全対策強化や事業の充実も求められている。

「マイクローリズ」の推進について」  
■その他の質問  
みに努める。

市長 それぞれの家族に合わせたリスク回避方法を事前に決めておき、対応していただくと同時に、保健所による必要な対応が取られると聞いており、連携した取り組みに努める。

質問 家族が感染した場合、在宅で介護を受けている高齢者の受け入れ先は確保されているのか。  
市長 それぞれの家族に合わせたリスク回避方法を事前に決めておき、対応していただくと同時に、保健所による必要な対応が取られると聞いており、連携した取り組みに努める。

市長 感染予防をした上で健康管理について聞き取りを行い、支援が必要な場合には対応していく。

質問 感染拡大防止を図りながら、どのように見守り活動を推進していくのか。  
市長 健康管理について聞き取りを行い、支援が必要な場合には対応していく。

いる自治体もある。羽村市でも実施してはどうか。  
市長 病児・病後児保育は実施する考えはない。緊急時の預かりはファミサポを委託している社会福祉協議会と協議していく。  
コロナ禍での高齢者、介護家族をいかに支えていくか  
質問 感染拡大防止を図りながら、どのように見守り活動を推進していくのか。

《Q》にぎわい商品券を発行すべきでは

《A》新たな対策の検討材料のひとつだ

鈴木 拓也 議員（日本共産党）



羽村駅東口商店街

市長 54世帯である。  
質問 生活資金などの貸付帯は。

市長 11世帯である。  
質問 住まいを失う恐れがある方が利用できる「住居確保給付金」を受給した世帯は。

質問 コロナ禍が原因で「生活保護」を受給した世帯の数は。  
市長 11世帯である。  
質問 住まいを失う恐れがある方が利用できる「住居確保給付金」を受給した世帯は。

コロナ禍で、くらし・経営を支える制度はどう機能したか  
質問 国の「10万円給付金」の申請から振込みまでの期間は、最短、最長、平均でどうだったか。  
市長 書類に不備がない場合、最短が9日、最長が27日、平均では20・3日だった。  
質問 コロナ禍が原因で「生活保護」を受給した世帯の数は。

「総合支援資金」の利用は。  
市長 「緊急小口融資」が337世帯、「総合支援資金」が197世帯だった。  
質問 今後さらに、くらし・経営が厳しくなる可能性がある。「上下水道料金の値下げ」、「にぎわい商品券の発行」などを行うべきではないか。

羽村市の温暖化対策はどうなっている(その3)  
質問 西口区画整理事業の新たな計画は、取り壊し・再築を増やす内容になったため、CO2排出が増えるのでは。  
市長 単純に排出量は把握できない。

市長 上下水道料金の減免を行う考えはない。にぎわい商品券は、新たな対策を講じる際の検討材料のひとつである。

市長 上下水道料金の減免を行う考えはない。にぎわい商品券は、新たな対策を講じる際の検討材料のひとつである。

市長 上下水道料金の減免を行う考えはない。にぎわい商品券は、新たな対策を講じる際の検討材料のひとつである。

市長 上下水道料金の減免を行う考えはない。にぎわい商品券は、新たな対策を講じる際の検討材料のひとつである。